

かしま灘楽習塾

だより



第19号

〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中 4631-1
 鹿嶋市まちづくり市民センター内
 TEL 0299 (85) 2601・FAX 0299 (85) 2602
 E-mail kashimanada_info@yahoo.co.jp
 URL http://www.geocities.jp/kashimanada_info

第3期塾生数

1000名を突破!!

平成20年4月に開講した第3期講座に於いて、初めて延塾生数が1000名を超え、114名の大台に達しました。また、塾生数増に伴わない前期と比較して10名の教授と18の講座が新しく楽習塾に加わり、益々の活況を呈しております。

『楽しく学んで、鹿嶋人の輪を広げる』私たちの楽習塾の思いが一人でも多くの市民に伝わるよう、今後とも頑張って参りましょう。

平成20年度 第3期延塾生数

	更新	新規	合計
教養学部	195	279	474
第1文芸学部	139	147	286
第2文芸学部	120	261	381
合計	454	687	1,141

第12回運営役員会要旨

6月29日に運営役員会が開かれ、左記事項が確認されました。

1. 第3期開講講座の確定

クーリングオフ後、次の内容で開講することが確定しました。

- ① 教授数：60名、講座数：93
- 延べ塾生数：1141名
- ② 更新塾生：40%
- 新規塾生：60%

2. 第3期予算案の承認

第3期塾生数確定により見込まれる運営費収入をもとに、事務局作成の予算案を了承した。

3. アンケート調査の集約結果と対応について

5月に教授の皆さんに依頼したアンケート調査をもとに、下記の事項を了承した。

- ① 塾祭時期：2009年5月9日(土) 場所：勤労文化会館
- ② 要望事項：いくつかの備品購入要求の中で、ラジカセ購入の予算を計上



4. 教授・リーダー会の進め方

- ① 時間配分：教授・リーダー会は10時～12時、昼食会は、12時～14時
- ② 議事次第の内容確認、昼食会は、講座の枠を超えたリーダーの交流の場にすることを確認。

5. 第4期募集に際しての規則改訂について

市民センターの施設利用について、市民から苦情のあった特別教室(多目的室、パソコン室など)の利用制限について、次期講座募集には講座数を自粛することを確認。

6. 事業部設置について

楽習塾の経営の安定化と効率化を目的に、楽習塾の有する総合力を生かして地域に貢献する事業ができるように、楽習塾規則の追加改訂案を了承した。

7. 年間行事への参加の有無調査について

- 次の3行事への参加の有無を、各講座毎にアンケート調査することにした。
- ① てら祭(市民センター祭) 今年11月1日・2日
- まちづくり市民センター
- ② 作品展示会：来年1月～2月、市民ギャラリー
- ③ 楽習塾祭：来年5月9日(土)、勤労文化会館

楽習塾の窓

今月号は、デジタル写真講座・絵手紙講座からの投稿を頂きました。

『デジタルで撮る楽習』

塾生 遠峰 澄子

写真教室に参加して二回目の写真展。何を出すか、これが大问题。「A3に延ばし得る位にはプリントの合っているヤツ」という物凄く低いハードルながら、ヤット「五枚選び出しました。」

「先生や先輩のお写真がとっても素敵よ。見に来て頂戴、お願いね。」

写真を始めてから、周りの風景や表情が急に色鮮やかに見え出したのに驚いています。朝一番、雨上がりの庭に輝く紅梅を目にしたときの、清々しさ。夕暮れ時には、川面に浮かぶ白鳥のシルエツトが、金色に光ります。コスモスの花びらを透かして見上げた秋空の、抜けるような高さも忘れられません。今までは、目にしても見えていなかったものが、少しずつ少しずつ近寄ってきてくれるような、そんな気がして嬉しくなります。

離れて暮らす娘たちに故郷の今を切り取って、メールで送ってやりましょう。



『一年の「成果」は自分にも見えました。』

塾生 永井ミヨ子

友達から良く「絵手紙」をいっていただきましたが「いいな〜！私もこんな絵手紙が描けたら〜」と昨年の四月、早まる鼓動を抑えきれなく塾生となった私でした。教室に入ると同じ年代の人で一安心しましたが、最初の難関、筆で描く1本の線が旨く描けなく挫折しそつになりました。そんな心を察してか斎藤先生は「うまく描こうと思わないでゆったりとした心で・・・ネ」「下手で良いんです。」と。すると、何故か気持が落ち着いて線も素直に描けるんです。先生の「話しかけ」で沢山、魔法をかけられたような気がします。

「てら祭」で自分の作品を市民の皆さんに見ていただきましたが正直、ドキドキでした。誘い合って見に来てくれた友人の「これ！貴方がホントに描いたの？」と笑顔が返ってきた時は嬉しかったと同時に自信が湧いてきました。夏の「暑中お見舞い」は塾生同士で交換しました。新年の「年賀状」はもちろん、絵手紙でした。絵手紙を描いていまして四季折々の空気を肌で感じ、感

性が磨かれてきますが不思議ですね。ふと眼にした道端の野草がとってもいとおしく、綺麗に感じるのです。

2月末の「楽習塾祭り」では作品づくりから展示準備、それに会場での来客対応と自分でも不思議なくらい動きました。自分の作品を「賞賛の言葉」で話している来客の姿を見て一年間の「成果」を見る事ができました。四月からは同じ塾生で新たな学習が始まりますが、ゆっくり楽しみながら学びたいと思います。

絵手紙講座教授

齋藤 富子

2回の「作品展」で塾生は力をつけました。自分の描いた作品を「市民の皆さんに見てもらおう」

この勇氣は大きな力となりました。作品を上手に描ける事より私は皆さんに、四季を感じとり感性豊かな人になってほしいと思っています。

そこに、「温かみのある絵手紙」が必ずついてくると思います。



事務局からのお知らせ

かしま灘楽習塾事務局の夏休みは、8/5(火)〜8/25(月)です。



「だより」原稿募集

かしま灘楽習塾だよりは、毎月1日発行です。9月号は教養学部、10月号は第一文芸学部、11月号は第二文芸学部より、原稿を募集いたします。また、皆さんにお知らせしたい事がありましたら投稿して下さい。いずれも原稿×切は、前月20日になります。

編集後記

今タチアオイ花の最盛期です。ね：白、ピンク、赤と、花びらは下から落ちて行き一番上の花が落ちる頃には真夏が来ると言われています。梅雨から夏へお花は神秘ですね。タチアオイ花の可愛いさと逞しさに敬服です。